

記入例9 現認書

支部様式第1号

現 実 認 証 明 書

該当しないほうを2本線で消すこと

被災職員所属・職・氏名	〇〇〇小学校 教員 武川 彩
災 害 発 生 日 時	平成 24年 9月 8日 (金) <div>午前午後</div> 11 時 25 分頃
傷 病 名	右足首捻挫
現 認 又 は 事 実 証 明 の 内 容	被災当日、私は武川さんと一緒に、地下室に書類をしまうため廊下を歩いていました。
	地下に向かう階段を降りている時に、武川さんは階段から足を踏み外し転倒してしまいました。
	うずくまったまま動けない様子だったので、大丈夫が聞いてみると「右足が痛くて動けない」と言っ
	ていたので、付添いながら医務室へ行きました。
	その後、武川さんは仕事を早退し病院へ向かいました。
	翌日、武川さんが出勤してきたので様子を聞くと、右足首捻挫と診断されたと言っており、右足首に
	は湿布が貼ってありました。
上記のとおり 現 認 し ま し た 。 — 証 明 し ま す 。 平成 24年 9月 10日 現認者又は 事実証明者の { 所 属 〇〇〇小学校 職・氏名 教諭 桜田 祐希	

現認者がどこで何をしていたのか、被災者との位置関係も記入すること

災害を目撃した者が、実際に見た事実をそのまま記入すること

災害発生後の状況についても記入すること

現認者の押印は個人印とすること

備考 事実証明は、現認者がいないときに、報告を受けた上司等が、報告の内容、その後の対応、調査内容等について記載してください。

記入例 10 事実証明書

支部様式第1号

現 認 書
事 実 証 明 書

該当しないほうを2本線で消すこと

被災職員所属・職・氏名	〇〇警察署 巡査 富岡 蔵之介		
発生日時	平成 24 年 2 月 29 日 (水)	午前 午後	7 時 50 分頃
病名	左肘頭骨折 , 左膝挫傷		
だれか のよう など のよ 容の報 けたの 的に記 事と	平成24年2月29日の午前8時15分頃、出勤して間もなく富岡巡査から電話がありました。		
	内容は、通勤途中で事故に遭い病院へ行くため、午前中は仕事を休むというものでした。		
	事故の状況、負傷の程度を聞いたところ、交差点を通った際に、進行方向右側から来た自動車と衝突		
	し、左肘と左足を痛めたとのことでした。当日は雪が降っており、相手方は路面でスリップしてしまっ		
	たとのことでした。		
認 又 け	午後には富岡巡査が出勤してきたので、本人から事故の報告を口頭で受けました。		
が行っ 方法、調 査に 明した も記入 と	その時、富岡巡査の左腕にはギプスがはめられ、左足も少し引きずって歩いているようでした。		
	その後、所轄の警察に事故の状況を確認したところ、事故の原因が相手方の雪によるスリップであ		
の 内 容	り、富岡巡査にはほとんど過失がないとのことでした。		
上記のとおり <u>現認しました。</u> 証明します。 平成 24 年 3 月 3 日			
現認者又は 事実証明者の		所 属 〇〇警察署 警備部機動隊 職・氏名 巡査部長 石野 剛達	⑨

備考 事実証明は、現認者がいないときに、報告を受けた上司等が、報告の内容、その後の対応、調査結果等について記載してください。

事実証明者の押印
は個人印とするこ
と